

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		初期救急医療体制整備事業						予算事業名		緊急医療体制事業費			
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	消防法、救急病院等を定める省令			
				04	01	02	1101	経常経費					
総合計画体系		1ともに支えあい、安心して暮らせる社会福祉の充実(保健・福祉)						事業の区分		主要事業			
		1-1健康で安心して暮らせる保健福祉の充実（健康・医療）											
		③地域医療体制の充実						担当課係等		健康増進センター			
1救急医療体制の整備													
事業期間		継続（昭和60年度～年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
休日でも、急病（怪我）時、誰もが迅速に医療が受けられる。							筑西市は、夜間休日一次救急診療所にて対応している。 小山市は、小山地区医師会に委託し、夜間休日急患診療所と在宅当番医制と併用で実施している。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
日曜・祝日及び年末年始の休日でも、迅速に初期救急医療が受けられるよう在宅当番医を設置し初期救急医療体制を整備する。 診療については、結城市医師会に委託する。							市民						
							【事業をとりまく環境の変化】 初期救急医療体制については、在宅当番医制と休日診療所開設によって実施する方法がある。公立病院がない市町村では、在宅当番医制として実施しているところが多い。						
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】					
診療については、1日2医療機関として診療に当たる。 診療時間は、9時から16時までとする。 夜間初期救急、小児初期救急医療体制を整備する。				診療については、1日2医療機関として診療に当たる。 診療時間は、9時から16時までとする。 夜間初期救急、小児初期救急医療体制を実施する。				診療については、1日2医療機関として診療に当たる。 診療時間は、9時から16時までとする。 夜間初期救急、小児初期救急医療体制を実施する。					
■事業費													
				H29年度		H30年度							
財 源 内 訳	国	庫	支	出	金	0	0						
	県		支	出	金	0	0						
	地		方		債	0	0						
	そ		の		他	0	0						
	一		般	財	源	8,100	8,100						
歳入計（千円）				8,100		8,100							
歳 出 内 訳	節（番号＋名称）			金額（千円）		金額（千円）							
	13 委託料			8,100		8,100							
歳出計（千円）（A）				8,100		8,100							
伸び率（％）						0.00							
備考	総合計画 51 ページ 予算書 97 ページ												

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	日曜・休日診療日数	日	目標	72.00	73.00	71.00
			実績	72.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	小児科受診者数	人	目標	1,425.00	1,300.00	1,300.00
			実績	1,229.00	0.00	0.00
	内科・外科他受診者数	人	目標	2,188.00	2,300.00	2,300.00
			実績	2,266.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	日曜・休日は、診療所が休診となるため、行政が初期救急医療体制を整備しなければならない。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	生活圏域である市医師会に委託することは妥当である。
	手段の妥当性	A 妥当である	患者が身近な診療所へ出向く、在宅当番医制は妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	医師会との協議で決定している。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	市民全体に関係していることから偏りはない。ただし、2歳以下の小児診療について課題はある。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	結城市内の在宅当番医以外、小山市夜間休日急患センターや友愛記念病院、自治医科大学病院等受診している現状があることから十分とは、いえない。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	日曜・休日、年末年始等の昼間においては計画通り実施できている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
日曜・休日、年末年始等の昼間の診療においては、問題なく実施されている。しかし、夜間初期救急医療、小児初期救急医療については、体制が十分とは言えない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
夜間、初期救急医療体制、小児初期救急医療体制整備について、医師会と協議する必要がある。また、生活圏域内の広域で連携して整備することも視野に入れて検討する必要がある。			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 市民が安全で安心して生活するうえで欠かせない事業であるため、引き続き、結城市医師会の協力を得ながら連携を強化し、事業を継続していく。また、夜間診療及び小児救急医療については、近隣市町村の夜間診療に市民が受診している状況を踏まえ、医師会と協議していく必要がある。	
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	